

テーマ：住民の生きがいづくり 対象：地域住民 主催：大野東市民センター

Eー④大野東市民センターメンバーシップ

子供の居場所としての活用		住民相互の学び合い・交流	○	関連施設・施策や民間企業等の連携	
--------------	--	--------------	---	------------------	--

1 学習プログラムの展開（令和7年度）

大野東市民センターメンバーシップは、地域住民が持つ知識等を生かして学びの場をつくり、人づかりにつなげる事業です。（令和5年11月開始）

日 程	場 所	学習・活動内容
令和5年11月～以後随時	大野東市民センター	①メンバーシップ募集 ○市民センターだより、ホームページ等でメンバーシップを募集。 ○応募者が持つ知識、経験、スキル、意欲等をヒアリング。
月平均3件程度事業実施	大野東市民センター	②事業実施 ※メンバー個々とプログラムづくり 笑いヨガ、大人のための読み語り、わちゃわちゃライブキッチン、元ナースのよもやま噺、大人の筆文字あそび、ほっとCafé、わたしの御朱印帳、他
概ね年4回程度	大野東市民センター	③企画打合せ（アイデア出し） ○メンバーシップ同士の対話の機会として開催。 ○アイデアや思いを出し合い、事業のテーマ・内容・日程を話し合い、スケジュールを決める。
3月	大野東市民センター	④事業振り返り ○振り返り会を開催し、事業への感想や気づき、次のアイデア出し等を行う。 ○近況報告も行い、メンバーシップのつながりづくりに生かす。



企画打合せ会



活動の様子（ほっとCafé）



活動の様子（大人のための読み語り）

対 象	地域住民
経 費	メンバーシップ活動費（消耗品費、報償費）、ボランティア保険代
連携先	特になし

問合せ先

廿日市市大野東市民センター

〒739-0414 広島県廿日市市宮島口東2丁目12番5号

電話：0829-56-1013 ファクシミリ：0829-56-3312

2 学習目的

- 「大野東市民センターメンバーシップ」を地域づくり活動へのきっかけ（入口）として、将来の地域づくり活動の創り手、支え手を発掘する。
- 地域住民が持つ知識、経験、スキル、意欲等を市民センターが提供する学びに生かす。
- メンバーシップとともに多様なテーマの学びの場を提供することにより、地域住民の暮らしの質の向上に寄与する。

3 学習目標（学習目的の達成に向けて、身に付ける力）

- メンバーシップと事業参加者との関わりを通して、コミュニティを広げることができる。
- メンバーシップが市民センターの事業に参画することにより、やりがいや達成感を実感し、継続することによって、地域の一員としての意識を高めることができる。

4 事前に必要な知識や準備物

- 市民センターだよりやホームページ等、事業の紹介
- 企画打合せ会や振り返り会の企画運営

5 留意点

- 丁寧にヒアリングを行い、メンバーシップの思いやアイデアを十分に引き出す。
- 事業の実現に向けて、職員が橋渡し役となり支援する。
- 定期的に企画打合せ会等を開催し、メンバーシップのつながりづくりを図る。

6 成果

- 地域住民がこれまでに培ってきた経験やスキル、「ちょっとやってみたい」という気持ちを生かすことで、自己実現の場となり、達成感や充実感を持つことができた。
- 「挑戦や関心を応援する場所」として、市民センターへの親しみや信頼が高まった。
- 多くの世代が関わるコミュニケーションの場となったことで、地域住民の居場所づくりができた。
- 住民同士のつながりが契機となり、他施設にも学びの場が広がった。
- 地域に開かれた市民センターとしての役割を果たせた。

7 課題

- 市民センターとしての役割とメンバーシップの思いの双方を踏まえ、事業内容を検討していく必要がある。

8 学びの成果を事業後に生かすための工夫

- 事業参加者が「大野東市民センターメンバーシップ」へ加入し、新たな学びを展開することで、更に多様な学びの場づくりへと発展させる。
- こうして新たに展開された学びの場から、地域住民がニーズに合わせて選択することにより、暮らしの質の更なる向上が期待できる。
- 学びの場づくりに関わる人が増加することで、人がつながり、地域づくり活動が更に活性化するよう関わっていく。